

数学への興味・関心 ～高校教育の現場から～

東京都立青山高等学校
主幹教諭 逸見由紀子

高校における進路決定

- 入学時の志望
- 高校1年、2年次
 - 視野を広げる指導
 - 講演会、芸術鑑賞などの利用
 - 進路ガイダンス
 - 卒業生、社会人の経験などを聞く
 - 適性検査の結果などの利用

- 数学関連の話題を扱ったり、経験することは少ない
- 高校生を対象とした講演会やイベントへの参加促進

数学へ興味・関心

- 学校生活で培う
 - ① 授業
 - ② 特別授業
SSH などでの取組
 - ③ 講演会
→ほとんどない
- 数学科への進学者数の推移について
過去5年間の推移

授業の枠を超えた 学校における取組の例

スーパーサイエンスハイスクール
理数イノベーション校
(東京都立高校 平成27年度より)

高校生のための 「先端数理科学見学会」

- ・ 数学が世の中にどのように利用されているかを生徒にしてもらい、生徒の興味・関心を引き出すことを目的としている。
(平成12年より実施)

【現在の開催状況】

明治大学先端数理科学研究科

- ・ 先端数理科学インスティテュート (MIMS)
- ・ 総合数理学部現象数理学科

東京都高等学校数学教育研究会 (都数研)

以上の共催で、「高校生のための先端数理科学見学会」を毎年8月初旬に開催している。

授業改善

数学は楽しい！ とっても大切！

「苦手」「分からない」「面白くない」等々の意識を持たれることが多い数学ですが、高校での授業を受ける中で、数学への興味・関心を高めてもらえればと、教材開発をし、指導に活かしています。

そうして、数学を知ってもらいたいと思っています。

大切なことは、数学的な見方や考え方を活用して、幸福な生活を送ることでしょう。

ご静聴ありがとうございました。